

# 岩手火山地質図\*

Geological Map of Iwate volcano

産業技術総合研究所地質調査総合センター\*\*

岩手県\*\*\*

Geological Survey of Japan, AIST

Iwate Prefecture

岩手火山地質図は、火山体構成物と山麓のテフラ層序を対比することで、過去数十万年に及ぶ岩手火山の山体形成史を明らかにし、各噴火ステージの噴出物を国土地理院発行の25,000分の1地形図上に図示した<sup>1)</sup>。これと共に地質学および史料火山学的研究により明らかになった噴火活動の様式、推移などをまとめ、火山地質学的観点から見た防災上の指針などの解説文をつけたものである。

岩手火山地質図は、関連する自治体、防災関連機関などで、各火山の噴火の長期的予測、火山災害の軽減・復興のための基礎資料として利用できる。また火山についての知識を得たい一般住民、教職員、学生・生徒、観光客・登山者が利用することができるように、火山に関する専門用語の解説も付記しており、火山と社会の共生を考えるための材料として活用されることを期待する。

岩手火山地質図では、現地地質調査、室内での分析作業を通して、過去数十万年の岩手火山の噴火史を明らかにした。本火山地質図では、岩手火山を地形的・岩石学的特徴から東岩手火山と西岩手火山に大別し、両者が数万年のスケールで互いに噴火活動を繰り返したこと、特に東岩手火山においては数万年の噴火休止期間を挟んで山体の大規模な崩壊が発生し、その後に噴火活動が活発化する活動サイクルが繰り返されていることを示した。

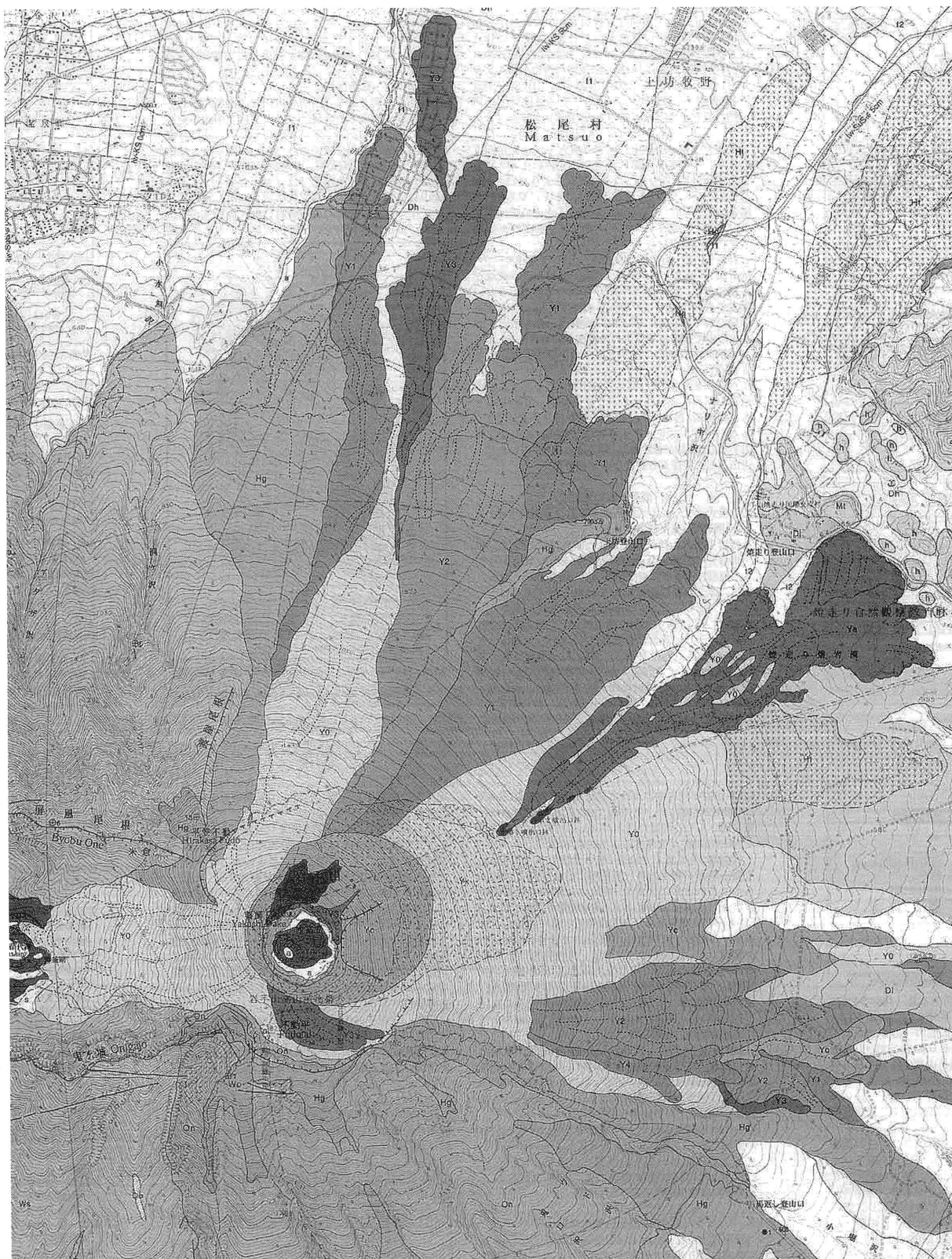
また約7千年前から現在に至るまで噴火活動を行っている東岩手-薬師岳火山については、噴出するマグマの化学組成、噴火の頻度などから、噴火活動期を大きく4つに分け、各活動期の噴出物の分布を地質図上に表現するとともに、最近1千年間における主な噴火活動の特徴と推移について解説を行った。特に、1998年に実施したトレンチ調査では、それまで明確でなかった14-15世紀の岩手火山の噴火活動の推移とそれに伴い火山体表層部が山麓部になだれ下る過程が明らかとなった。また、1998年以降の活動については、その活動経過をまとめ、1999年以降の地熱活動が活発化した地域を地質図上に図示した。これら岩手火山における過去の火山活動について、発生実績のある噴火様式ならびに活動の推移を噴火活動シナリオ・フローチャートに整理し、防災上の注意点と共に解説を行った。

## 参 考 文 献

- 1) 伊藤順一・土井宣夫 (2005) : 岩手火山地質図, 火山地質図, no. 13, 産総研地質調査総合センター.

---

\* Received 30 Sep., 2005  
伊藤順一\*\*・土井宣夫\*\*\*  
Jun' ichi Itoh, Nobuo Doi

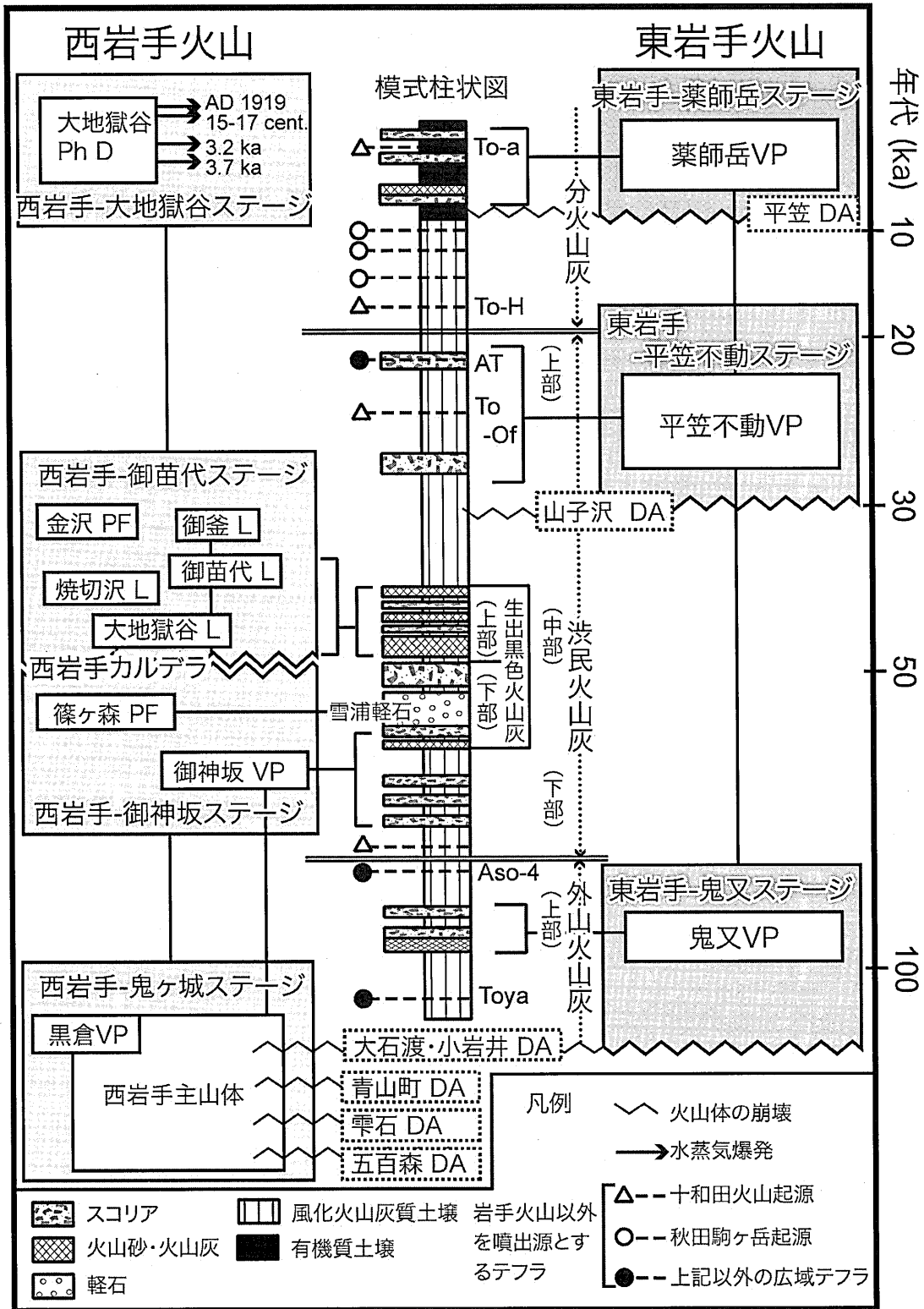


第1図 岩手火山地質図(部分)

岩手火山において最近7千年間に活動している東岩手-薬師岳火山の噴火活動を山麓テフラとの対比に基づいて、4つの活動期に区分し、各活動期ごとの山体構成物を示した。

Fig.1 A part of Geological map of Iwate Volcano.

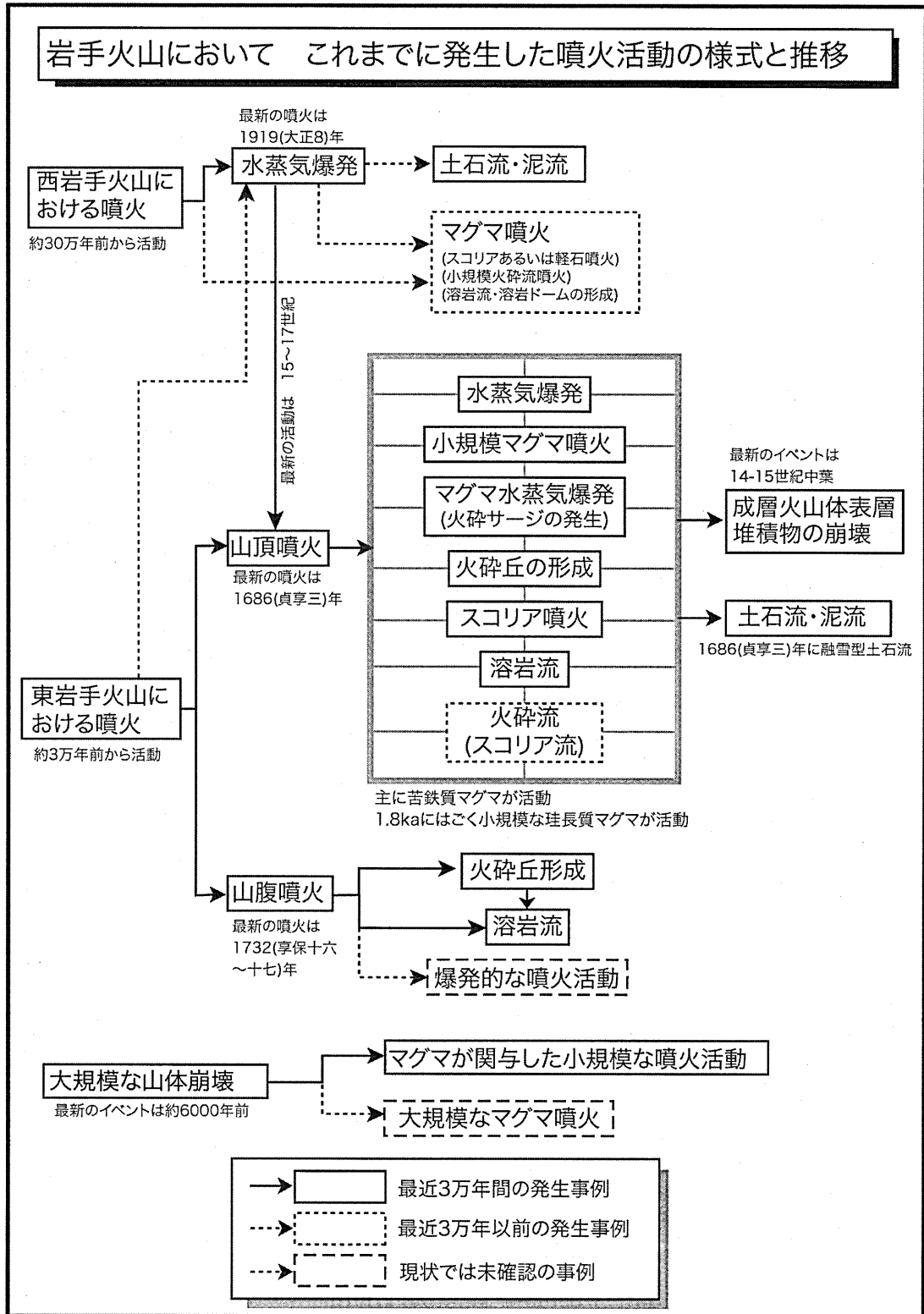
# 岩手火山



第2図 岩手火山の層序関係図

岩手火山の山体構成物と山麓のテフラ層序と対比することで、岩手火山の噴火活動史を編み直した。

Fig. 2 Stratigraphical relationship of Iwate Volcano.



第3図 岩手火山の噴火シナリオ・フローチャート

主に最近7千年間に発生した噴火活動の様式およびその活動推移をフローチャートとしてまとめた。

Fig. 3 Schematic diagram of eruption style and sequence of Iwate Volcano.